

官民連携による民間事業者参画に関する調査検討業務

プロポーザル審査講評について

1. 審査経過の概要

官民連携による民間事業者参画に関する調査検討業務プロポーザルには、3事業者からご提案をいただきました。

審査の流れとしては、令和7年5月23日を提出締切としておりました参加申込書について1次審査を行い、令和7年7月9日にプレゼンテーション・ヒアリングを隠岐の島町役場201会議室で実施し、審査員との質疑応答を行いました。その後、各審査員が提案された企画提案について実現性や的確性、独創性、公平性などの視点から評価を行い、各委員の平均点を算出しました。

審査会では、各委員の採点の考え方を元に協議し、総合的に判断した結果、株式会社エイト日本技術開発松江支店を最優秀提案者に選定しました。

2. 官民連携による民間事業者参画に関する調査検討業務審査講評

この度のプロポーザルは官民連携事業の円滑な執行に寄与するため、11の審査項目のうち、「業務実績」及び「実施方針」について重点的に評価しました。

～最優秀提案の評価概要～

提案者の提案内容は、今後の事業者選定に向け、多数の同種・類似業務実績による確度の高い業務プロセスや業務実施体制が確立されていました。また、独自提案の内容についても、民間事業者の参画に向けた手法が示されており、本町での確実な官民連携事業の遂行が図られるものと評価されました。以上の評価から、隠岐の島町が選ぶ最適な提案であると判断しました。

～その他提案の評価概要～

その他の提案内容は、公平・公正なプロセスが詳細に説明されていたことや、本町の現状と課題を理解された提案が評価されていましたが、同種・類似業務実績等によるプロセスや業務実施体制に懸念があり、最優秀提案に比べ、相対的に及ばないものと判断しました。

審査委員会としては3社の提案を慎重に審査し、3社の熱意と努力、企画力に感嘆するところではありましたが、仕様書で示した業務内容の遂行、同種・類似業務の実績という面において確実性のある提案者を最優秀者といたしました。

最後に、本プロポーザルに参加され、貴重な時間と労力を費やされ、真摯に努力し提案していただいた皆さまに心より感謝いたします。

この業務では、西郷港周辺まちづくりの一環で行っている官民連携事業について、島内外企業へのヒアリングを通じて課題と参画可能性を明確にし、波及効果の評価するための視点を検討することが重要です。さらに、協働スキームやインセンティブを含めた具体的な契約手法の検討を行い、公平性と透明性を確保した評価指標の設定に向け、事業者や役場担当職員と密なコミュニケーションを図りながら従事することを望みます。

今後、関係者にはこれらの点を十分配慮の上、業務を進めていただき、西郷港周辺まちづくりの成功に寄与することを委員一同期待しています。

官民連携による民間事業者参画に関する調査検討業務

プロポーザル審査委員長 藤野 一